



ロシアの隕石(4g)



2013年2月15日、ロシア南部のチェリャビンスクに宇宙からの贈り物が届きました。偶然



■25

隕石のお話

衣川製鎖工業・衣川良介社長

画像はカラーと交換しています。

にもその落下物は動画に撮られていたため、世界中の話題になりました。私も動画サイト、ユーチューブ(YouTube)で数回見ました。隕石に関心を示されなかった方々もこの宇宙ショーを見て興味を持たれました。

私が初めて



ギボン隕鉄(850g)

『鉄のふしぎ博物館』を見学される方からも、隕石や隕鉄に関する質問が多く出るようになりました。現在では隕鉄2種類(ギボン隕鉄、カンボ・デル・シエロ)隕石2種類(ロシア、シリア)、パラサイト(産地不明)などを展示しています。隕石は太陽系の天体の破片などが地球へ落下してきたものです。その大部分は、火星と木星軌道の間に多数分布する「小惑星」と呼ばれる小天体のかけら

であると考えられています。なかには火星や月からやってきた隕石も、わずかで見つかっています。

隕鉄に興味を持ったのは30年以上も前です。ある時、鉄片にきれいな幾何学模様のある写真を見つけ、説明文には隕鉄と書かれていました。どうしてこんな模様が出るの? 「どこにあるの?」不思議に思った私は、それを見たい、手に入れたいと考えるいろいろと調べました。これまでに隕石や隕鉄を見た場所は以下です。『愛媛県総合科学博物館』『香川県新居浜市』『姫路科学館』『東京大

8月三条新聞に以下の記事が掲載されました。『隕鉄(宇宙から飛来)で小刀4本 三条の技術で(三条新聞13/8/31号より)』

【参考図書】

①鉄の歴史と化学

田口勇著 1988年

裳華房

②隕鉄(宇宙から飛来)

で小刀4本 三条の技術

で(三条新聞13/8/31

号より)